

第Ⅰ部 第4回広島県合同輸血療法委員会
(平成26年7月26日開催)

第Ⅰ部 広島県合同輸血療法委員会の開催について

1 概要

血液製剤は、善意の献血を原料とするため資源として限られていることと、その適正使用が輸血療法の有効性に大きく寄与することから、常に最新の知見に基づいた適正な使用を推進する必要がある。

このため、広島県では、各医療機関内に設置されている輸血療法委員会が相互に情報交換を図ること等により、県内における輸血療法の標準化を図り更なる適正使用を推進することを目的として、平成23年度に広島県合同輸血療法委員会を設置し、4年目となる今年度も次のとおり第4回会議を開催した。

2 開催結果

(1) 平成25年度事業の報告及び平成26年度事業の検討

昨年度の事業内容及び今年度の事業計画について、協議し了承を得た。

ア 平成25年度活動報告

- ・平成25年度の事業実施報告（委員会及び研修会）
- ・「輸血療法に関する調査」結果

イ 平成26年度事業内容

- ・輸血療法に関する調査
- ・研修会
- ・医療機関からの相談応需事業の実施（実地相談）
- ・厚生労働省研究事業への応募

(2) 特別講演

「輸血医療の均てん化にチャレンジ 小規模医療施設における輸血医療の特徴とその支援」

講師：金沢赤十字病院検査部 二木敏彦先生

【講演の概要】

- ・石川県合同輸血療法委員会において、石川県の輸血医療の現状を規模別に把握するために、アンケートを実施し、小規模医療施設においては、輸血マニュアルの整備、輸血用血液製剤の保管体制が充分とはいえない状況がわかった。
- ・平成24年度に、委員会の中に小規模医療施設向け輸血マニュアル作成委員会等5つの実行委員会を設置し、小規模医療施設における輸血医療の改善と支援に取り組んでいる。
- ・今後、作成した輸血マニュアルの効果・妥当性を検証し、マニュアルの改訂をしていく予定である。

(3) その他医療機関からの状況報告及び意見交換

各医療機関の出席委員から、各医療機関での血液製剤の遡及調査や輸血前後の検査について発表し意見交換を行った。

＜開催概要＞

1 日 時

平成26年7月26日（土曜日） 15時～17時

2 場 所

国保会館

（広島市中区東白島町 19 番 49 号）

3 主 催

広島県，広島県赤十字血液センター

4 議 題

(1) 平成 25 年度事業の報告

（委員会，研修会及び輸血療法に関するアンケート調査）

(2) 平成 26 年度事業の検討

(3) 特別講演

「輸血医療の均てん化にチャレンジ

小規模医療施設における輸血医療の特徴とその支援」

（金沢赤十字病院 検査部 二木敏彦先生）

(4) 各医療機関の状況報告及び意見交換

(5) その他

5 資 料

次ページ以下に掲載